

令和7年度 住まい環境整備モデル事業
【課題設定型・事業者提案型】

提案内容の概要

事業名称 : 困窮暮らしに花が咲く「3分の1生活」拠点づくり事業

代表提案者 : 一般社団法人umau.



1・これまでの取組

【課題設定型・事業者提案型】

法人名



一般社団法人umau.

拠点名



実家よりも実家じじっか

2014年12月～(約4年間)

母子家庭の当事者団体として活動

ママをひとりにしない母子家庭団体
SWAK

2019年1月～(約2年間)
合同会社umau.

2020年7月実家よりも実家じじっかSTART

2020年10月支援対象者等子ども見守り強化事業

2021年3月～(現在)
一般社団法人umau.

所属
330世帯

2022年4月～自分流計画3人4脚プロジェクト
2024年7月～リリボンマーケットオープン

mission

3分の1生活

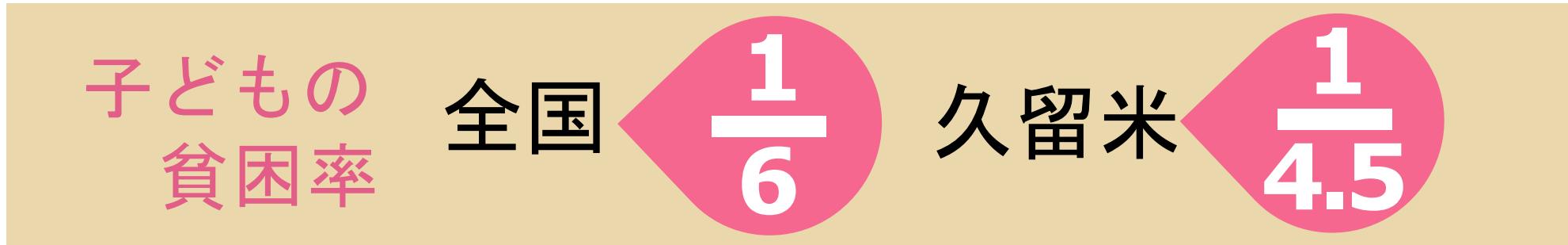
今まで豊かになる方法
支え合いながら軽減と余白を生む生活スタイル



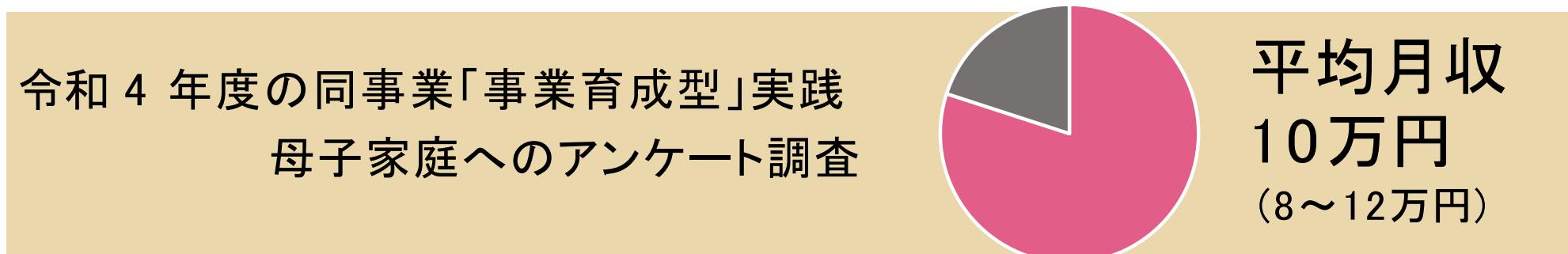
課題設定型

- ✓多様な世帯の互助を促進する地域交流拠点の整備
- ✓子育て世帯向け住環境の整備

■社会背景(全国-久留米)



■課題を見つけるためのアクション



■本事務「多様な世帯の互助を促進する地域拠点の整備」に向けた課題と必要性



課題とこれまでの活動で導き出した

5つの事業展開



①【暮らす】
シェアハウスの展開



②【働く】
プラスα就労の展開



③【学ぶ】
地域の学校の展開
リリボンマーケットの展開



④【節約する】
リリボンマーケットの展開



⑤【交流する】
複合施設の展開

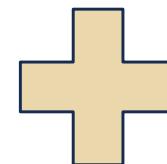
今回の事業で行うこと
2つの拠点づくり

シェアハウス

複合施設

Boys
UUCHi

Girls
UUCHi



じじっか

- ①暮らす
- ②働く
- ③学ぶ
- ④節約する
- ⑤交流する

- ②働く
- ③学ぶ
- ④節約する
- ⑤交流する

一體的に整備する事の重要性

①【暮らす】シェアハウスの展開

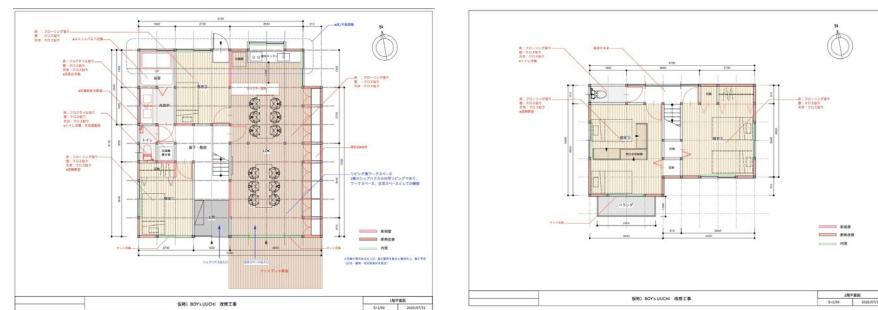
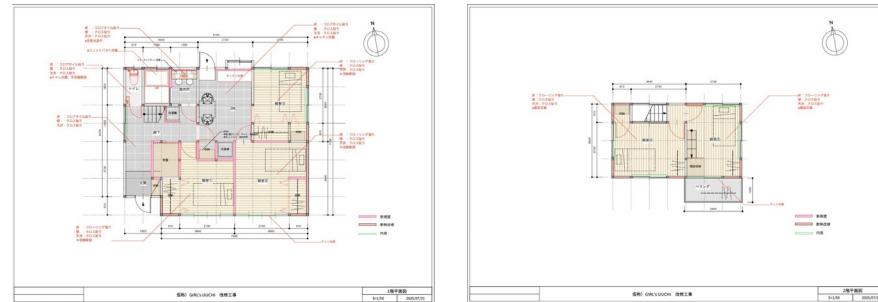
みんなで働きながら生活費を稼ぐ
ワークスペース付きシェアハウス

ソフト面の工夫

- ▶自身の稼ぎから生活費を出すのではなく
一緒に住む人達と共に働き扱える仕事を
持つ事で協力し合える価値観を育てる
- ▶じじっかとの連携により生活の安心をつくる

ハード面の工夫

- ▶入居者や地域の方も交流できる24畳の
広い共用リビング兼ワークスペースを設
ける
- ▶滞在時間の多いリビングや個室の
断熱改修を行い居住空間の快適性向上と
ランニングコスト減を図る。
- ▶手触り感のある仕上げを共有部に
適宜配置し、心理的に不安定な入居者
へ向けて安心感を与えるデザインを取り込む。



BOY'S UCHI リビング

②【働く】プラスα就労の展開

貧困世帯の豊かさをつくる働き方 (就労支援事業を含む)

ソフト面の工夫

- ▶どんな環境下の方でも働ける為に、
仕事の内容を細分化できるような職種の選択をした
- ▶就労支援利用者だけではない
一般の利用者とも共に働く
- ▶貧困世帯の副業としても
役に立つ働き方の提案

ハード面の工夫

- ▶ミシン・パソコン
草木染めの工房づくりに
おいての空間の切り分け
- ▶働く中での
休憩と交流ができる設計



③【学ぶ】地域の学校の展開

学校では学べない自分を追求する
不登校児向けの民間学校

ソフト面の工夫

- ▶集団行動や協調性を重視せず単独で自己流を追求できる学校づくり
- ▶「自分流教育」を掲げた放課後等ディサービスで障がいと教育を掛け合わせる
- ▶子どもだけではなく
家族も参画できる学校

ハード面の工夫

- ▶不登校などコミュニケーションが
苦手な子供達に向けて個室も
設け動線を整理
- ▶様々な分野の授業が開催されても
交流拠点としてオープンな
空間を保てる設計



じじっか 2階 地域の学校

④【節約する】リリボンマーケットの展開

家計の節約のためにお金ではなく
リボンを作成して交換するお店

ソフト面の工夫

- ▶リボンを作成し、寄付品と交換する事で、支援の選択肢の一つに定着させていく
- ▶支援する側される側という一方向の支援からの脱却
- ▶無料でもらうのではなく
誰でも参画できる小さな努
力で獲得する文化づくり

ハード面の工夫

- ▶寄付でいただいた洋服や食材を
古着としてではなくアパレルシ
ョップの様に
ディスプレイできる展開
- ▶リボンを編むスペースを
配置することでの
コミュニティの創出



じじっか 1階 リリボンマーケット

⑤【交流する】複合施設となるじじっかの展開

子ども食堂だけに参加する目的ではなく、多様な人達が様々な目的を持ち参画出来る居場所となる。

ソフト面の工夫

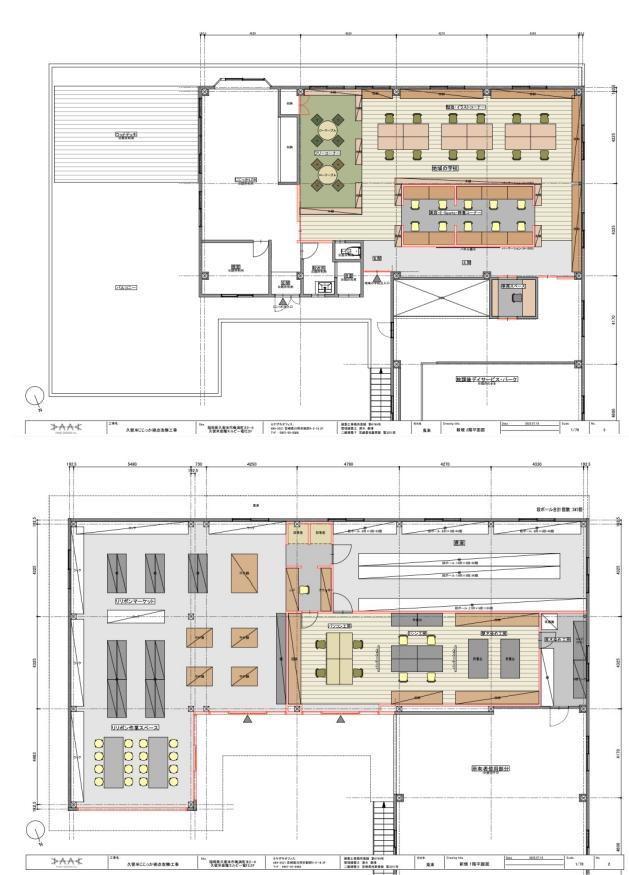
►一般の人達も関わりやすい複合施設になることで多様な人達が繋がり合える。

ハード面の工夫

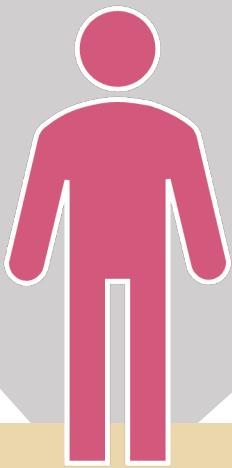
►アクセスの良い1階を、リノベーションし、マーケット工房として広く開放。倉庫として運用面の効率化も向上



じじっか 外観



制度やサービスでは
手が届かない
複雑化した課題



①【暮らす】
シェアハウスの展開



②【働く】
プラスα就労の展開



③【学ぶ】
地域の学校の展開



④【節約する】
リリポンマーケットの展開

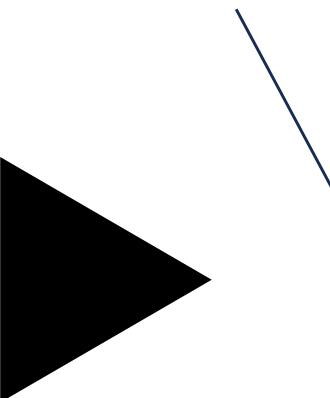


⑤【交流する】
複合施設の展開

生活全般を一体化させた活動

地域への生活環境の効果

居住環境、仕事や学びにおいても
一体的に自立に向けた支援となる



血縁のない大家族として
多角的な支援の中で
自立していく人の増加

同様の取り組みを行う事業者への効果

当事業のスキームを
事例として展開・波及可能

どこの地域にも
マッチングできるような
支援の仕組みの展開

①当事者の主体性を検証するために

■定量的な調査方法:各プロジェクトの参画人数(支援、利用者)

当事者が得た利益額

使った時間数

新規参画人数

リボンの長さ(m)

来場者人数

独自の授業数

■定性的な調査方法:当事者本人の課題解決や願いが叶った報告の記録

学校での計画表

工房での報告書

ハウスでの議事録

②当事者、支援者への周知を検証するために

■定量的な調査方法:紹介(新規)人数・視察人数

紹介(新規)人数

視察人数

■定性的な調査方法:コミュニケーションの中での対話の記録

アセスメントシート

視察記録